

二〇〇八年七月三十一日
発行



第91卷 第4号 史学・地理学・考古学

論 説

古代東北アジアにおける馬具の製作年代……………諫 早 直 人 (1)
——三燕・高句麗・新羅——

「書同文」考……………山 田 崇 仁 (41)

一三世紀アイスランドにおける平和維持……………松 本 涼 (72)
——ノルウェー王権受容に関する一考察——

清末湖南省長沙における地方教育行政の
実態について……………宮 原 佳 昭 (106)
——提学使呉慶坻と教育界人士との対抗関係を中心に——

書 評

大黒俊二著『嘘と貪欲——西欧中世の商業・商人観——』……………佐々木 博 光 (140)

紹 介

Shaun Tougher, *Julian the Apostate*……………南 雲 泰 輔 (148)

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

しまう。著者のこうした叙述方法が適切であるかどうか、読者は史料の再吟味のみならず、さらに進んでは著者の所説をも含む先行研究の再検討を、各々改めて試みねばならないであろう。

巻末には、ユリアヌスの年譜、より深い理解のための文献案内、小論文設問と練習問題、文献表、索引を附す。文献表は比較的新しいものが中心で、インターネット上の関連サイトも取り上げられてはいるが、その後も新しい研究書が続々公刊されているので最新の研究動向を知るには充分でない。もつとも、ユリアヌスのような有名な皇帝について、網羅的な文献リストを期待するのは望蜀かも知れない。

最後に、この「古代史の議論と史料」シリーズの特色のひとつは、小論文設問と練習問題である。本書においても、ユリアヌスについて研究する際の三五の論点が提示されている（一八四—一六頁）。無論、問題がこれによって尽されるということはないであろうが、これからユリアヌス研究を始めようとする者には貴重な指針となるはずである。ちなみに、三五の論点のうちのひとつは次のようなものである。

「なぜユリアヌスは、歴史家にとってそれほど興味深い人物であり続けているのだろうか？」

なぜだろうか？本書のページを繰りながら、是非考えてみたい問題である。

(Edinburgh: Edinburgh University Press, 2007, pp. xvii + 201.)

（南雲泰輔 京都大学大学院文学研究科博士後期課程・日本学術振興会特別研究員）

受 贈 誌

（二〇〇八年三月—一三日）
（二〇〇八年五月—二六日）

- 人文學（同志社大学人文学会）一八二—
文化學年報（同志社大学文化学会）五七
上海センター研究年報東アジア経済研究
（京都大学大学院経済学研究科附属上海
センター）二〇〇六一—
史料 皇學館大學史料編纂所報（皇學館大
學史料編纂所）二二三、二二四
東方學（東方學會）一一五
立命館文學（立命館大学人文学会）六〇三、
六〇四、六〇五、六〇六
紀要史学（中央大学文学部）五三
史學雜誌（史學會）一一七—一二、三、四
関西学院史学（関西学院大学史学会）三五
紀尾井史学（上智大学大学院史学専攻院生
会）二七
経済論叢別冊調査と研究（京都大学経済学
会）三三三
史學（三田史学会）七六一—
Historia Mexicana (El Colegio De Mex-
ico) 227, 228

- アジア・アフリカ文化研究所研究年報（東洋大学アジア文化研究所）四二
 史学研究集録（國學院大學日本史学専攻大学院会）三三
 史淵（九州大学大学院人文科学研究院）一四
 五
 史學研究（広島史学研究会）二五九
 信濃（信濃史学会）六〇一三、四、五
 人文地理（人文地理学会）六〇一
 日本史研究（日本史研究会）五四七、五四八、五四九
 日本歴史（日本歴史学編集）七一九、七二〇、七二一
 歴史学と歴史教育（歴史学と歴史教育の会）六四、六五
 史窓（京都女子大学史学会）六五
 立命館国際平和ミュージアムだより（立命館国際平和ミュージアム）一五一三
 立命館平和研究——立命館大学国際平和ミュージアム紀要——（立命館国際平和ミュージアム）九
 駿台史學（駿台史学会）一三三
 立命館法學（立命館大学法学会）三二六
 經濟論究（九州大学大学院経済学会）一三〇
- 古代文化（古代学協会）五九一四
 湘南史学（東海大学大学院日本史学友会）一七
 東洋文化（東京大学東洋文化研究所）八八
 CHRONOS クロノス（京都橘大学女性歴史文化研究所）二八
 關学西洋史論集（關学西洋史研究会）XXXX
 經濟論集（ソウル大学校經濟研究所）四六一三号
 史迹と美術（史迹美術同致会）七八三号
 社会学年誌（早稲田社会学会）四九
 西洋史学報（広島大学西洋史学研究所）三五
 五
 專修史学（專修大学歴史学会）四四
 美術研究（東京文化財研究所）三九三
 埋藏文化財調査年報——国庫補助事業対象分——（太子町教育委員会）平成一七・一八・一九年度
 神戸薬科大学研究論集 *Journal*（神戸薬科大学教養課程共同研究室）八
 東洋學報（東洋文庫）八九一四
 長野県立歴史館たより（長野県立歴史館）五四
 同朋大学佛敎文化研究所紀要（同朋大学仏敎文化研究所）二七
 同朋大学佛敎文化研究所報（同朋大学仏敎文化研究所）二一
 岐阜經濟大學論集（岐阜經濟大學学会）四一
 一
 国立台湾大學考古人類学刊（国立台湾大學大学院人類学系）六六
 新潟県立歴史博物館研究紀要（新潟県立歴史博物館）九
 經濟科学（名古屋大學大学院經濟学研究科）五五一四
 山口大學文學會志（山口大學文学会）五八
 史觀（早稲田大学史学会）一五八
 栃木史学（國學院大學栃木短期大学史学会）二二
 愛知大學文學論叢（愛知大學文学会）一三七
 七
 社会經濟史学（社会經濟史学会）七三三、三四
 專修大學大学院社会知性開發研究センター／東アジア世界史研究センター年報（專修大學大学院社会知性開發研究センター）一
 日本学刊 JAPANESE STUDIES（中国社会科学院日本研究所中華日本学会）二

〇〇八一—

経済学研究（九州大学経済学会）七四—三、

四

東洋史研究（東洋史研究会）六六一—四

日本研究 国際日本文化研究センター紀要

（国際日本文化研究センター）三七

立命館産業社会論集（立命館産業社会学

会）四三—三、四

アジア研究所紀要（亜細亜大学アジア研究

所）三四

茨城大学人文学部紀要人文コミュニケーション

ン学科論集（茨城大学人文学部）四

茨城大学人文学部紀要社会科学論集（茨城

大学人文学部）四五

韓国史研究彙報（韓国国史編纂委員会）一

三九

福島県立博物館紀要（福島県立博物館）二

二

東洋文化研究（学習院大学東洋文化研究

所）一〇

九州国際大学法学論集（九州国際大学法学

会）一四—二

アジア研究所所報（亜細亜大学アジア研究

所）一三〇

石炭研究資料叢書（九州大学記録資料館産

業経済資料部門）二九

エネルギー史研究——石炭を中心として

——（九州大学記録資料館産業経済資料

部門）二三

東北学院大学論集 歴史と文化（東北学院

大学学術研究会）四三

日本学士院紀要（日本学士院）六一—三

オリエント（日本オリエント学会）五〇—

二

民俗学研究所紀要（成城大学民俗学研究

所）三—

諸国叢書（成城大学民俗学研究所）二—

二—三合併

大倉山論集（大倉精神文化研究所）五四

同朋大學論集（同朋大学同朋学会）九二

札幌大学女子短期大学部紀要（札幌大学女

子短期大学部）五一

國史學（国史学会）一九四

経済研究（一橋大学経済研究所）五九—二

ANTHROPOLOGICAL SCIENCE

（The Official Journal of the ANTHRO-

POLOGICAL SOCIETY OF NIPPON）

116-1

京都橋大学研究紀要（京都橋大学）三四

藝林（藝林會）五七—一

大東文化大学漢学会誌（大東文化大学漢学

会）四七

愛大史学—日本史・アジア史・地理学—

（愛知大学文学部史学学科）一七

中央研究院 歴史語言研究所集刊（中央研

究院歴史語言研究所）七九—一

豊後国東郷の調査 大分県立歴史博物館

報告書（大分県立歴史博物館）一〇

人文研究（小樽商科大学）一一五

山形大学歴史・地理・人類学論集（山形大

学歴史・地理・人類学研究会）九

龍谷大学経済学論集（龍谷大学経済学会）

四七—一、二、三、四、五

経済論集（ソウル大学校経済研究所）四六

一四、四七—一

札幌大学総合論叢（札幌大学）二五

白山史学（東洋大学白山史学会）四四

九州国際大学教養研究（九州国際大学教養

学会）一一—三

国家學會雜誌（国家学会事務所）一一—

三・四

九州国際大学教養研究（九州国際大学教養

学会）一四—一、二—三合併号

会 告

去る六月十九日に開催されました史学研究会理事・評議員会におきまして、左記の事項が可決、承認されましたのでご報告申し上げます。

記

- 一、二〇〇七年年度決算報告
- 二、二〇〇八年度予算案

一、役員の変更

1. 退任

理事長 金田章裕 (↓理事)
常務理事 田中和子 (↓理事)
理 事 吉川真司 (↓評議員)
久武哲也

藤井讓治 (↓理事長)
泉 拓良 (↓常務理事)
岩井茂樹 (↓監事)
島田真杉 (↓理事)
大戸千之、近藤 治

評議員 小山 哲 (↓理事)
中砂明德 (↓常務理事)
編集委員 青谷秀紀 (西洋史)
谷川穰 (日本史) (↓評議員)

庶務委員 松本 彩 (東洋史)
下垣仁志 (考古学)

2. 新任

理事長 藤井讓治
常務理事 泉 拓良、中砂明德
理 事 金田章裕、島田真杉
小山 哲、田中和子

監事 岩井茂樹
小林 功、渡辺秀一

木田知生、吉川真司

編集委員 谷川 穰
梶さやか (西洋史)

庶務委員 鍛冶宏介 (日本史)
丹治美玲 (東洋史)

稲畑航平 (考古学)
南都奈緒子 (地理学)
佐藤夏樹 (二十世紀学)

編 集 後 記

史林第九一卷第四号をお届けいたします。今号には、考古学・東洋史・西洋史の各分野から論説・書評・紹介を掲載することができました。今号の論説は、東北アジアで発掘された古代の馬具の製作技術と機能の変化を綿密に検討して馬具の広域編年を明らかにした巻頭の諫早論説をはじめとして、

中国史上に名高い秦の文字統一について史料の字句の読み直しを通じて新見解を提出した山田論説、サガと呼ばれる史料に着目して一三世紀のアイスランド社会を考察した松本論説、清末中国における近代的な教育制度導入をめぐる葛藤を地方レベルの史料を用いて論じた宮原論説と、いずれも史料の新たな活用をはかった若い研究者による意欲作で、それぞれ今後のさらなる展開も大いに期待されるところです。

一点、訂正がございます。前号第九一卷第三号の奥付の巻号が誤って「第二号」と記されておりました。お詫びして訂正いたします。(古松崇志)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.soc.nic.jp/shr/index.html>

二〇〇八年七月二五日印刷 定価 二二〇〇円
二〇〇八年七月三一日発行

史 林 第九一卷第四号(通巻第四七〇号)

京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学部研究科内

電 話 〇七五七 七五二二 二七八七

発行人 史 学 研 究 会

振替京部 〇一〇七〇二一五二 五五番
理事長 藤 井 讓 治

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽薬田元

史学研究会大会・総会のお知らせ

左記のごとく、本年度の史学研究会大会および総会を開催いたしますので、
多数御出席下さい。

日時 二〇〇八年十一月二日（日）午後一時

場所 京都大学文学部 新館第三講義室

公開講演

歴史情報源としての瓦

上原真人氏（京都大学）

イスラーム世界と新しい世界史

羽田 正氏（東京大学）

史学研究会

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XCI No. 4

July 2008

CONTENTS

Articles :

ISAHAYA Naoto, The Dates of the Manufacture of Horse Trappings in Ancient Northeast Asia: The Three Yan Kingdoms, Koguryo, and Silla (1)

YAMADA Takahito, A Study of *Shu tong wen* 書同文 and the Qin Dynasty Policy of “Standardization of Written Language” (41)

MATSUMOTO Sayaka, Peacemaking in 13th-Century Iceland: A Consideration of the Submission to Norwegian Kingship (72)

MIYAHARA Yoshiaki, On the State of Local Educational Administration in Changsha, Hunan during the Late Qing: With a Special Focus on the Opposition between Commissioner of Education Wu Qingchi and Educational Reformers (106)

Book Review :

OGURO Shunji, *Liar and Greedy: Changing Images of Medieval Merchant* (SASAKI Hiromitsu)..... (140)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 1,200円(税込)

ISSN 0386-9369